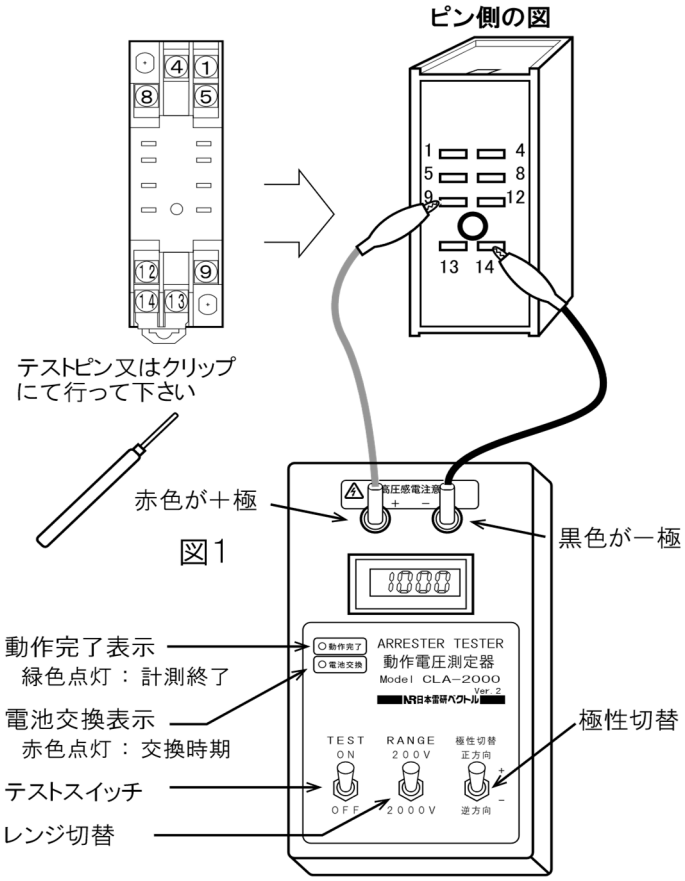
CLA-2000による避雷器点検方法

適応機種
RK－24M(Z)

●端子配列と結線図



チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000のは1mA以下の電流制限付きです。
1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。
TESTスイッチをOFFにするまで表示します。

●点検前のご注意

① 安全のため配線されたソケットより外して行って下さい。
② 感電にご注意下さい。
　TESTスイッチをONにしているとき、出力の電極を素手で触れないで下さい。
③ メーターのサンプリング周期により読み取り誤差があります。
　2～3回程度行って下さい。

●点検後･･･新品交換待ちになった場合

① 劣化と判断した場合であっても電源･信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻して下さい。
　交換までの雷サージ対策となります。

●素子の良否判定

① 測定する素子の動作電圧に合わせてRANGE(レンジ)を切り替えて下さい。
② 極性切替スイッチは通常正方向を定位置にして下さい。(極性切替時使用します)
③ チェッカーCLA-2000のテストピン(またはクリップ)を下表端子番号に合わせて接続して下さい。
④ TESTスイッチをONに投入して下さい。
⑤ 指示値が下表の範囲内は正常、範囲外は劣化(不良)と判定します。

＜＞

各素子	測定端子間	端子番号 ＋極／－極	印加電圧 (レンジ)	確認内容 下記の範囲であること	故障モード
対地間G1	L1/E	⑫/⑭	2000V	DC300 - 430V	OPEN
対地間G2	E/D2	⑭/⑨	2000V	DC300 - 430V	OPEN
Z1	D1/L2	⑫/⑤	200V	DC44 - 54V	SHORT
ZD	L1/L2	⑧/⑤ ※	200V	DC32 - 38V	SHORT

※ 極性切替スイッチで逆方向の確認もおこなって下さい。